

戦火よびこむ「安保三文書」破棄せよ、戦争の覚悟でなく、平和の国づくりを

たたかい続けよう

自民党の改憲暴走を止めよう

「緊急事態条項」という言葉を字面だけ見れば、なんとなく「災害などが起きた緊急事態に政府や公共機関が対応しやすくなる」という印象を持たれるかもしれないが、これはまやかしの言いつけではない。到底容認するわけにはいかない恐ろしいものだといえることが、広く知られるべきだ。

メディアをハイジャックし自民は総裁選を支持拡大に利用しています。改憲では「緊急事態条項と9条に自衛隊明記」を競い合っています。

5月の朝日新聞の世論調査では、憲法9条があることで「日本は戦争をしないで済んできた」との意見に8割が共感し、同じ時期の産経新聞の世論調査では、改憲論議を「急ぐ必要はない」と65%が回答しています。

また、7月に公表された日本世論調査会の「平和に関する世論調査」では、自衛隊は「専守防衛に徹するべき」と68%が回答しています。

そのいずれもが、敵基地攻撃をアメリカ軍と一体で行う自衛隊像を受け入れられるものではないことを示しています。

憲法の平和の理念を強く支持する多くの市民の思いを声にし、私たちの運動で可視化していくことで、改憲暴走は阻止できると確信します。

2024.8.18. 木 「緊急事態条項」に躍起

分立が失われ、国会は国権の最高機関でなくなり、選挙も実施されないまま、権力者による「独裁」が続いてしまう。岸田首相が次期総裁選不出馬の意向を示したとはいえ、自民党が「表紙」を替えて政権に君臨し続けたいのは明白だ。

「戦争する国」への道押し返そう

小森陽一さんと改憲阻止学習会

8月4日明石魚住センターで『西明石9条の会』が中央「9条の会」の小森陽一さんを迎えた学習会を開催しました。

小森さんは「中国脅威を前面に米・英・豪と日本が軍事共同行動を行い」、「自衛隊が米軍の一部に編成されてしまい」、「沖縄から台湾まで毎日のように対中国戦争の訓練が行われている」などを具体的に説明しました。

その上でこうした事実を多くの人々に伝えていく運動の組織化を強調しました。そのためにもそれぞれの地域で、こまめに対話活動、学習会、宣伝活動を行い、力関係を転換させようとうったえました。

＜壊憲阻止・戦争法等廃止・野党共闘・原発・行動案内＞

- ※9/7(土)16:00「神戸大丸前」諸事件支援共同アピール行動
※9/10(火)12:15「東遊園地入口」恒例の憲法昼パレード
※9/11(水)12:15「神戸大丸前」原発やめよイレブンアクション

◇◆◇地域や団体の催し◆◇◇

★★★ 9月12日(木) 18時半～
原発をなくし自然エネルギー推進する兵庫の会
第28回恒常講座

場所：神戸市中央区文化センター 1112
講師：山本 元さん・気候ネットワーク主任研究員
『第七次エネルギー計画と世界の流れ』
恒常学習会はどなたでも参加でき無料です。

(連) 078 - 335 - 3770